



# HANDA CUP第51回全日本女子プロボウリング選手権

12月12~14日/東大和グランドボウル

## 姫路麗が5度目の戴冠&3度目の3冠

# 完全無欠のメモリアルイヤー



▲「自分がどれほどボウリングにかけているかを証明するには、全日本の優勝が必要だった」と姫路



▲2020年はリスタイ禁止で新たな挑戦が始まるが「それを楽しみといえるのは、20勝を達成できたから」



▲準優勝の坂本「10代のうちに金バッジが欲しかったけど…、姫路さんがすごすぎました」



▲「壁が厚かったですね」と、アベレージトップで迎えた最終戦で、姫路の逆転を許した寺下

つくと、怒とうの11連発で290を叩き、ノーミスで213とまとめた坂本を寄せ付けず、5度目の全日本制覇を果たした。

JPBA2019年シーズンの最終戦となった第51回全日本女子プロボウリング選手権大会は、今季永久シードのV20を達成した姫路麗(33期・フタバボウル)が、5度目の全日本制覇、そして3度目のポイント、賞金、アベレージの3冠獲得で、自らのメモリアルイヤーを締めくくった。(主催：(公社)日本プロボウリング協会/一般社団法人国際スポーツ振興協会)

予選Part I (8G)、Part II (8G)と坂本かやが独走態勢だったが、それに待ったをかけたのは姫路麗。Part III (8G)で1964を打って、坂本との差を83ピン差まで詰めてきた。準決勝(9G)は、3位以下を引き離し

て二人のマッチレースとなった。トップシードになれば、優勝決定戦で敗れても再決定戦が行われるアドバンテージを得られるだけに、ともに譲れないトップ争いは最終Gまでもつれたが、姫路が坂本を35ピン抑え

る7622でトップシードを獲得した。そして全日本を前にランキング3位の佐藤まさみが3位、2位の寺下智香が4位で進出と、決勝は今季を象徴する顔触れとなった。

### 4位決定戦

1フレのスプリットを2フレからのターキーで挽回した佐藤だが、その後は右レーンでストライクを奪えず、8フレからの

オールウェーで突き放した寺下が、247:206で勝ち上がった。

### 3位決定戦

ダブルスタートの坂本が、6フレからのターキーで勝負を決めにかかれば、寺下も7フレからのターキーで抵抗するが、10フレ1投目で切れて、坂本が227:216で優勝決定戦に進出した。

### 優勝決定戦

スペアスタートの姫路に対し、このゲームもダブルスタートで坂本が先行した。しかし姫路は2フレからのダブルで追い



▲ディフェンディングチャンピオンとして臨んだ佐藤は「昨年までとレギュレーションが変更になったなかでもここまで残れてよかった」

### 優勝・姫路麗のコメント

## 「余計なものが全部なくなって今最高のボウリングができています」

予選のPart II を終わって(坂本)かやちゃんと230ピンも開いていて、追いつくにはPart IIIで差を100ピンに…と計算していたけど、83ピン差で最終日を迎えられた。準決勝は、優勝できなくても、また3冠が取れなくても、33Gを1位であれば満足できると思っていたので、トップシードにこだわっていた。全日本の最後の1ゲームは、何回経験しても特別で、緊張で足が震えた。優勝決定戦までの待っている時間いろんなシミュレーションをして、準決勝までは違う攻め方を選択した。1フレは緊張で、狙ったところと全然違うところにいってしまったけど、2フレ以降はイメージ

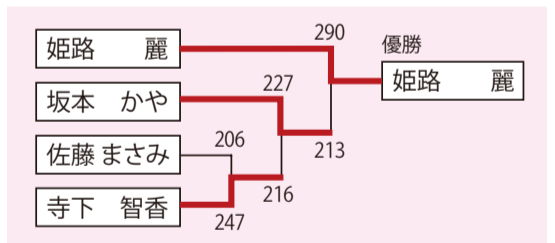
どりの投球ができて、それがうれしかった。

この1年はすごく良かった。とくに開幕戦のオールスターで19勝目を挙げてから、20勝を意識してしまっ。6月にアメリカに遠征したけど、それが気持ちの上ですごくよかった。20勝を達成してからは、余計なものが取り除かれて目の前の投球に集中できている。今、心技体と、ボウリング人生で最高の状態にある。

3冠については、誤解を恐れずに言えば、現役のボウラーであると同時に、もうひとつの目標の自分がいて、それは副会長としてなのか、母親的な視線な



のかわからないけど「こんなに勢いのある姫路さんの3冠を阻止して、しかも松永さんでなく(寺下)智香ちゃんがアベレージを取った」というニュースを発信したかったし、また19歳のかやちゃんが全日本を優勝したら、それはそれでうれしいことなんです。だから全日本の優勝も、3冠も誇らしいうれしいけど、複雑な気持ちもあります。(優勝ボール：ROTO-GRIPアイドル・プロ)



### ●優勝決定戦

坂本 かや	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	29	49	67	87	116	136	153	173	193	213
姫路 麗	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	50	80	110	140	170	200	230	260	290

### 2019年度ランキング 姫路が3度目の3冠

全日本女子プロ選手権で2019年度の全日程を終了し、ポイント、賞金、アベレージの各ランキングが決定した。全日本を前にポイント、賞金の2冠を確定していた姫路が、アベレージ2位で臨んだ最終戦で寺下を逆転し、2008年、2015年に続く3度目の3冠を達成した。

### ●ポイントランキング

- ①姫路 麗 5,414P
- ②寺下 智香 3,737P
- ③佐藤まさみ 3,502P

### ●賞金ランキング

- ①姫路 麗 11,635,000円
- ②佐藤まさみ 4,228,000円
- ③寺下 智香 4,122,000円

### ●アベレージランキング

- ①姫路 麗 218.78AVG
- ②寺下 智香 218.00AVG
- ③浅田 梨奈 213.92AVG